

(様式1)

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県ゴルフ練習場 企業局経営管理課

2 施設所在地
富山市松木573-2

3 施設設置年度
平成3 年度

4 設置目的
住民福祉の向上と産業の健全な発展に寄与するため

5 施設概要
・敷地面積 27,413.94㎡
・クラブハウス 306.32㎡
フロント、ラウンジ、会議室、応接室、事務室、シャワー室、喫茶室等
・打席棟 1,409.50㎡
64打席（1階32打席、2階32打席）※全打席オートティーアップシステム導入
・フェアウェイ(距離200m) ※全面天然芝、県内最長
・パター等練習場（グリーン、バンカー各一箇所）
・駐車場（100台）

6 指定管理者
株式会社ホクタテ・株式会社中条・株式会社柴崎農園共同体

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

R1	R2	R3	R4	R5
59,107	56,253	48,643	51,626	47,762

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R1	R2	R3	R4	R5
65,146	61,933	53,846	56,118	51,464

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和4年度と比較して、利用者数利用料金収入ともに8%程度減少した。令和5年7月から試行を開始した夜間営業時間の1時間短縮の影響が大きい。また、比較的多くの来場者を見込むことができる夏場において、酷暑の影響から大幅に来場者が減少したことも影響として考えられる。

・引き続き、利用者からの要望の実現、友の会会員増に向けた努力、イベント内容の充実等により、利用者数及び収入の増に努めてもらいたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

・平成24年度から健康器具や血圧計、ドライミスト、スポットクーラーの設置、バンカー階段設置、飛距離マップの表示を行っているほか、スイングチェッカー等の無料貸出等も行っている。

・昨年度と同様に、7月の開業記念感謝祭では景品配布やレッスン会・試打会の企画を、10月には「友の会ゴルフコンペ」を開催した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

平成24年度から以下の取組みを行っている。

- ・ホームページの運営
- ・友の会ゴルフコンペの商品の充実、コンペの実施
- ・友の会 会員への年賀状(フロントに持参すると1,100円のプリペイドカードと交換)送付
- ・開設記念感謝イベントの充実(プロゴルフ協会所属プロによる無料レッスン会等)
- ・体験ゴルフ教室実施

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	令和5年7月1日～7月17日、フロントで手渡しし、記入を依頼
回答者数	294名
結果	接遇に関しては294人中282人(95.9%)から「良い」または「まあまあ良い」との回答が得られた。 民間施設と比較した料金の高さ・入場料金の制度や、施設や設備（打席マット、ゴルフボール、照明等）の老朽化改善要望があった。
結果を踏まえた改善事項	利用料金については、友の会の新規入会・更新キャンペーン、打ち放題などの割安感が感じられるような掲示を行った。 施設の老朽化については、修繕の必要度に応じて、防球ネットやガイドワイヤーの修繕を実施した。 また設備の老朽化については、利用者のニーズに合わせ、打席マットの頻繁な入替やゴルフボールの洗浄・入替、夜間照明のLED化等を実施した。

② その他利用者の声を反映させる取組み

意見箱の設置・聞き取り・電話・ファックス・Eメールでの受付

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報の扱いには細心の注意を払っているが、より適切に個人情報保護が図られるよう、個人情報に関する指針を定め、職員への周知を徹底するよう指定管理者に指導。

(6) 関係団体との連携

富山県ゴルフ練習場連盟の定期総会に参加し、情報交換等を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

監視カメラを設置し、事務所でクラブハウス内や駐車場の状況を常に認識できるようになり、より高い安全性を確保することが可能となっている。
令和6年能登半島地震の際は、緊急連絡網を用いて適切な対応を検討し、実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	12
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・開業から32年以上経過し、施設が老朽化しているため、利用者の安全と利便性を考え、計画的な修繕が必要。
- ・近隣の類似施設等の情報収集、利用者のニーズの把握に努め、更なる利用者増に向けた工夫が必要。
- ・新型コロナウイルス感染症に関し、引き続き必要に応じた感染防止対策を行い、スタッフ及び利用者が安心して利用できるよう適切な施設運営を行うこと。